

紀央館高等学校

実施日時	平成31年4月24日（水）、 令和元年9月4日（水）、2月4日（水）～6日（木）
参加者	生徒505名、教職員53名、地域住民等0名 計558名
実施内容	地震・津波・火災 避難訓練、心肺蘇生法 等

ねらい

- 1、地震による津波や火災に対して適切な避難行動がとれるようにする。
- 2、心肺蘇生と AED 使用の訓練をすることで、適切な救命処置がとれるようにする。

主なプログラム

1、津波避難訓練

- ①参加者 1年生153人 教職員11名
- ②開催日 平成31年4月24日（水）
- ③取組 大地震が発生し、その後、津波が発生したと想定し、避難行動の訓練を行う。

2、火災避難訓練

- ①参加者 全学年505人 教職員53名
- ②開催日 令和元年9月4日（水）
- ③取組 大地震が発生し、その後、火災が発生したと想定し、避難行動の訓練を行う。

3、心肺蘇生訓練

- ①参加者 1年生153人 教職員12名
- ②開催日 2月4日（火）～6日（木）
- ③取組 各クラスで、御坊消防署員の指導のもと、救命入門コース（約2時間）を受講した。1日2クラス実施。

概要

1、津波避難訓練

大地震の揺れがおさまったとの想定で正門前に避難。さらに連動して大津波警報の発令を受け、本校北の高台（御坊市湯川町富安方面）に避難する予定であったが、当日雨天のため、体育館で地震・津波についての講義を実施し、避難訓練は後日、ク

ラス単位で実施した。その時には、避難場所や避難経路を確認し、円滑に

避難できるようにした。また、八幡山や亀山等、標高40m 辺りを中心に、学校周辺の地理を認識させた。

2、火災避難訓練

大地震が発生したと想定して、身の安全を守るため、シェイクアウト訓練を行った。また、揺れが収まってから速やかに避難できるように窓や戸を開けておくことを心掛けた。その後、地震により

火災が発生した場合を想定して運動場に慌てずに速やかに避難した。運動場で整列点呼を



した後、御坊消防署員の指導の下、消火訓練を行った。

3、心肺蘇生訓練

胸部圧迫法並びにAED装着訓練を中心に講師先生の指導の下、ダミー人形を使って実際に体験し訓練を行った。



参加者感想文

- 避難訓練で避難の手順がよく分かった。避難するとき階段にたくさんの方がいて驚いた。思ったより時間がかかったので想定にとらわれずにテキパキしないとだめだと思った。
- 外に出るのに時間がかかった。出入口が意外と狭いのでなかなか外に出られなかった。でも、いざとなったら逃げるための経路を確認できてよかった。
- AEDの使い方が改めてよく分かった。もし、このような場面に出会えば、きちんとできると思うので、良い講習になった。もし人が倒れていた時、助けてあげられるようになったと思います。

成果と課題

1、津波避難訓練

1年生に学校周辺の地理状況を認識させ、避難場所まで迅速に移動させることができた。しかし、実際の移動経路は、交通量の多い交差点や踏切、用水路などがたくさんあり、かなりの注意を要した。

来年度以降、校舎高台への移動も含め、

避難場所の再検討をしたいと考えている。

2、火災避難訓練

地震発生時、シェイクアウト行動や、避難のため戸を開ける等、迅速な対応ができていた。避難場所への移動も、問題なく行えた。

しかし、当日は猛暑日のため、集合後に体調不良を訴える生徒がいた。暑い時期に避難することの大変さを経験してもらえたが、時期等検討する必要があると感じている。

3、心肺蘇生訓練

1日2クラスずつ3日に分け実施した。少人数で受講したため、体験の機会が増え、より一層充実した講習会になった。特に、難しく感じていたAEDの使用も、講習後は抵抗感がなくなった。今後、必要な場面に遭遇した場合に、難なく使用することができると思われる。